

1 1
1 1

登場人物



わたし

週1で泣く。



ガンちゃん

20代の女性
がすき。



かずし

出る杭を
打ちたがる。



しーちゃん

ガンちゃんのお気に入り。



まいちゃん

ガングリオンに
詳しいわたしの
幼なじみ。



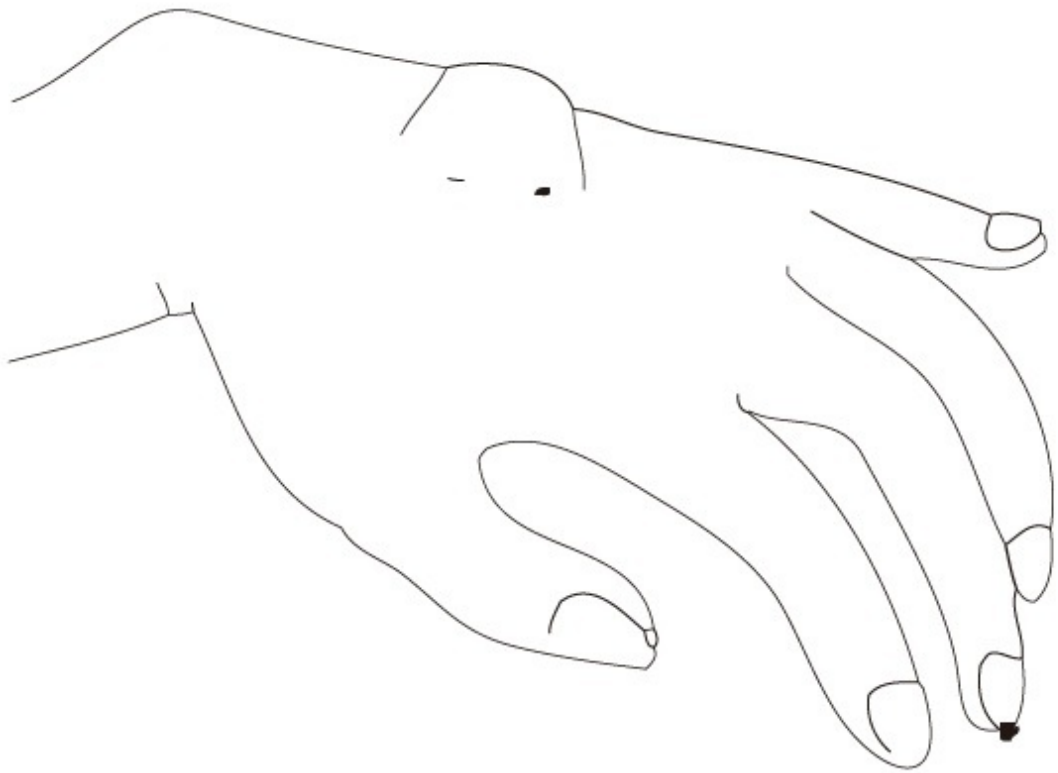
つんつん

何でもまずは
つんつんしてみる。

初めて見たのは
しーちゃんのヤツ。



かなりおどろく。



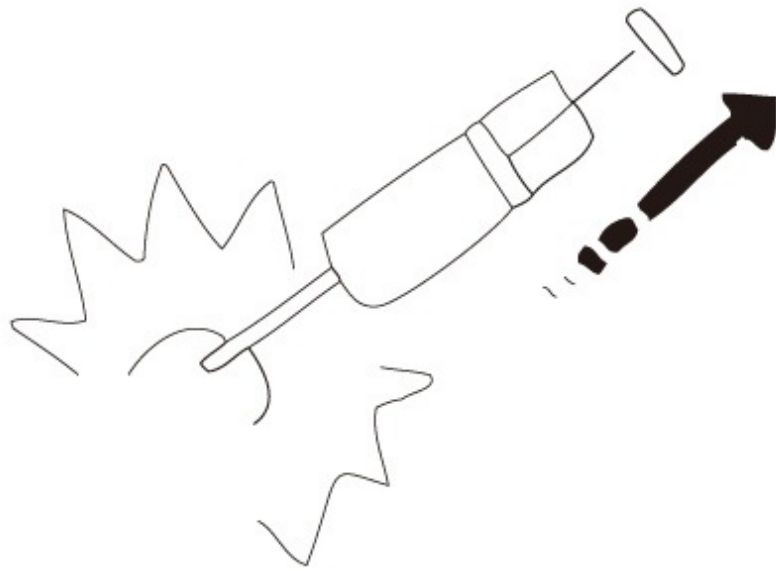
しかも触ると固い。

ぬいてもぬいても
できるんだよね～。



しーちゃんは1回5,000円で
病院で吸いとってもらっていた。

注射器でブスッと



しーちゃんが言うには

なんか白いゼリーみたいなもの



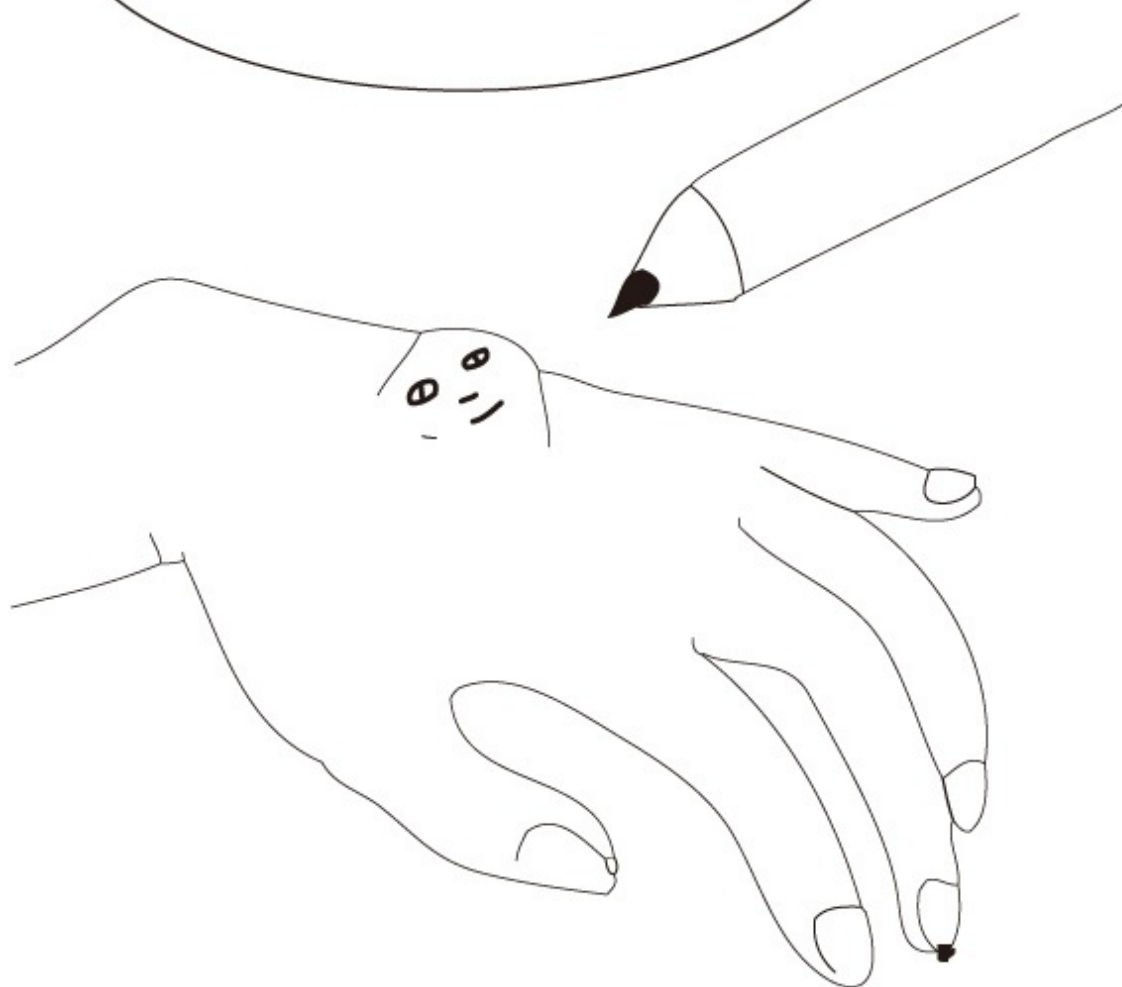
がでてくるらしい。

骨のように固いのに、ゼリー？

それはともかく
体には無害らしい。

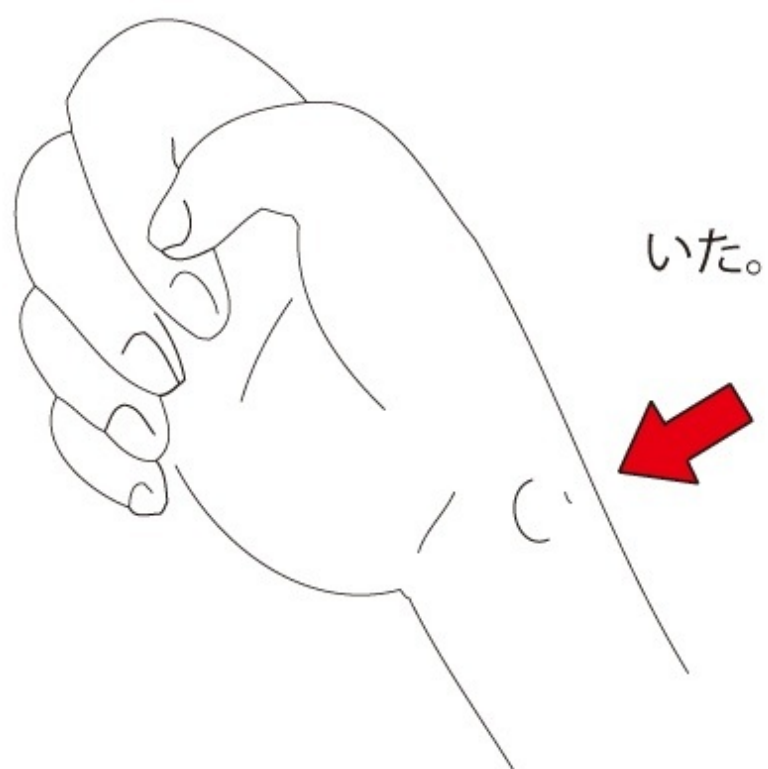


名前はガンちゃんにしよう。



これが私とガングリオンの出会い。

だから驚かなかった。



それガングリオンでしょ！



知ってる人は知っている。

いつも





ひま

どんなときも



※痛くはない。

一緒にいた。

ところが 空気が冷たくなって

私も周りの人も忙しくなって

みんな

ガンちゃんのことを

忘れてしまっていた。

ふと思い出して見ると



明らかにガンちゃんは小さくなっていた。

最近忙しくて
構ってあげられなかったから…

押したら
戻るんじゃない？



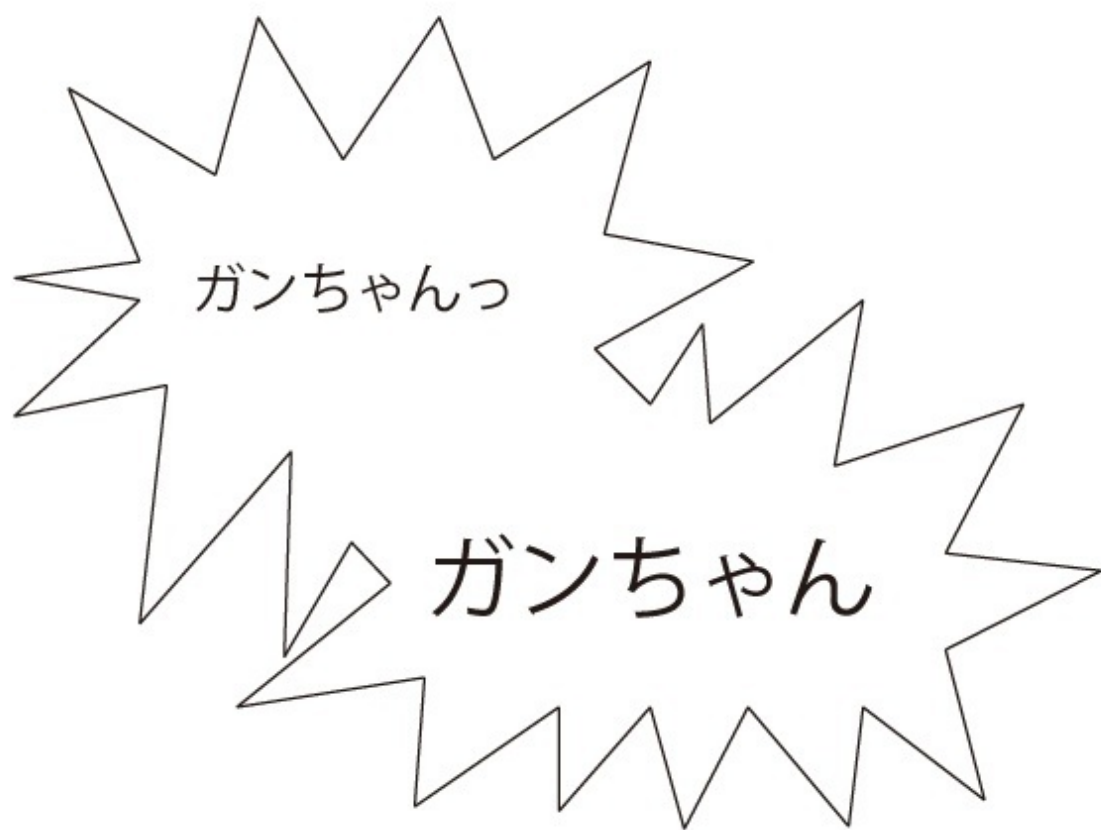
やめとく。

でもやっぱり忙しくて
ガンちゃんを忘れていた。

やがて

ガンちゃんは私の右手から姿を消した。





なんか白いゼリーみたいなもの



どこいった

おいっ

ガンちゃん

白いの
どこいった

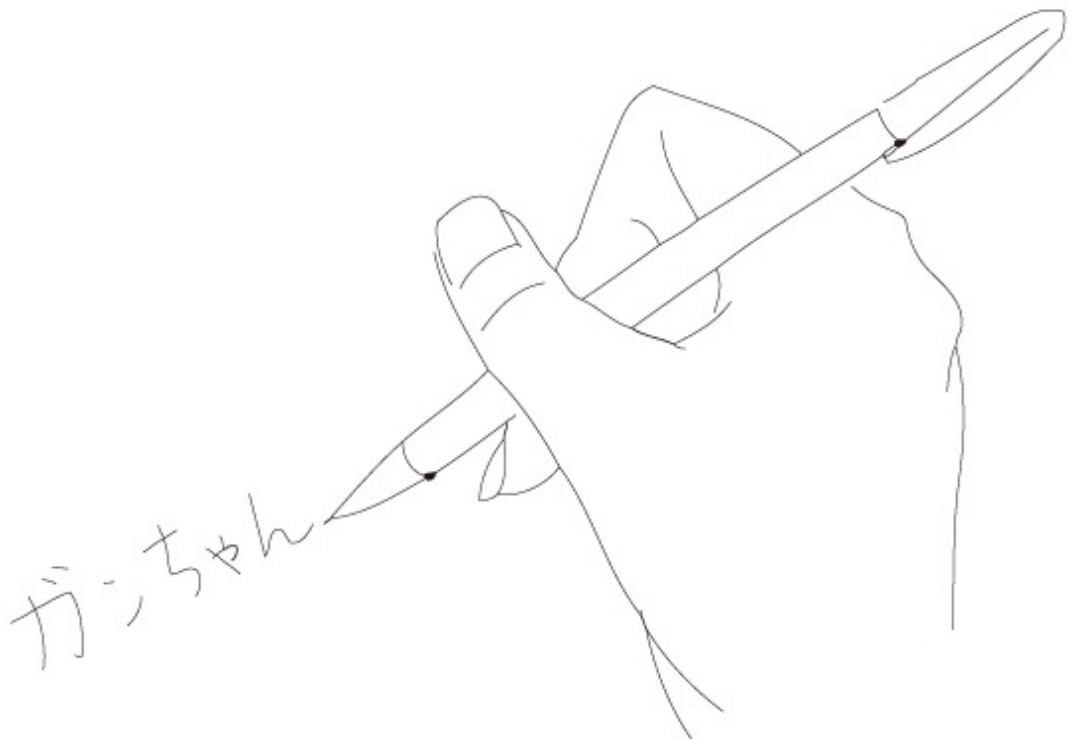


と、探してはみたものの
見つかるはずもなく

いつも一緒にいた割に
寂しさは一瞬で終わり

ないならないで平気だった。

そういえば、いなかった時の方が
断然長かったから。



ガングリオン

<http://p.booklog.jp/book/24323>

著者 : naaaatsuko

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/naaaatsuko/profile>

発行所 : ブクログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/24323>

ブクログのパブー本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/24323>